



2021年11月5日

各位

会社名 エア・ウォーター株式会社  
代表者名 代表取締役会長 豊田 喜久夫  
(コード番号：4088 東証第一部、札証)  
問合せ先 上席執行役員  
広報・IR部長 井上 喜久栄  
(TEL. 06-6252-3966)

## 業績予想および期末配当予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年8月5日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を実施することを決議するとともに、2022年3月期の期末配当予想を修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について

##### (1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2021年8月5日公表)	百万円 890,000	百万円 63,000	百万円 62,000	百万円 41,000	円 銭 181.41
今回修正予想 (B)	890,000	65,000	64,000	43,000	190.20
増減額 (B-A)	0	2,000	2,000	2,000	
増減率 (%)	0.0	3.2	3.2	4.9	
【ご参考】前期実績 (2021年3月期)	806,630	51,231	49,651	27,367	120.98

##### (2) 修正の理由

2022年3月期第2四半期の業績は、産業ガス関連事業において半導体関連向けの機器・材料分野が好調に推移するとともに、ケミカル関連事業における製品市況の好転や農業・食品関連事業における生産性の向上などにより、利益率の改善が計画を上回って推移したほか、インドにおける合弁事業の解消に伴い、その他収益の計上がありました。

こうした状況を踏まえ、2022年3月期の通期連結業績予想を上方修正することとしました。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

(1) 2022年3月期 中間配当の内容

	決定額 (2022年3月期中間)	直近の配当予想 (2021年5月12日)	前期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	27円00銭	22円00銭	22円00銭
配当金総額	6,179百万円	—	5,007百万円
効力発生日	2021年12月1日	—	2020年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 2022年3月期 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年5月12日公表)	円 銭 22.00	円 銭 22.00	円 銭 44.00
今回修正予想		27.00	54.00
当期実績	27.00		
前期実績 (2021年3月期)	22.00	22.00	44.00

(3) 修正の理由

当社は、剰余金の配当につきまして、中長期的な成長のための戦略投資等に必要な内部留保の充実に留意しつつ、連結配当性向 30%を目標として、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としています。

この基本方針の下、中間配当につきましては、2022年3月期第2四半期累計期間における利益水準や財政状況を総合的に勘案し、1株当たり5円増配し、27円にすることとしました。

また、期末配当金につきましても、前述の通期連結業績予想の修正を踏まえ、直近の予想から1株当たり5円増配し、27円に修正いたします。これにより、修正後の1株当たりの年間配当金は、中間配当金27円と合わせ54円となります。

※上記の予想は本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上